



学校だより

12月号 平成29年11月30日発行

春日部市大倉496-1 TEL746-6238 児童数671名(11/30現在)

桜川小HP <http://www.sakuragawa.av-center.kasukabe.saitama.jp>

学校教育目標

- 進んで学ぶ子(かしこく)
 - 思いやりのある子(やさしく)
 - 体をきたえよく働く子(たくましく)
- ～地域と共に歩む
笑顔あふれる活力ある学校～

←桜っ子日記、毎日更新中！

地域と共に歩む 笑顔あふれる 活力のある学校・・・

中島 剛

12月。師走になりました。何となく慌ただしさを感じてしまいます。私達大人が忙しくなれば、子供達の指導に隙間が生じてしまうと言われていきます。

特に怖いのが交通事故。埼玉県知事からも11月に「交通死亡事故多発に伴う知事緊急メッセージ」が出されるほど、死亡事故が増えています。子供達一人一人の実態に応じた適切な指導を各家庭でもお願いいたします。

さて、11月には市内音楽会やスーパー元気さわやか集会、アフタヌーンコンサート、三世代交流、修学旅行など多くの行事がありました。その一つ一つで子供達の活躍する姿を見るたび、互いに触れ合い、交流し合って成長していることを感じました。

卒業まであと4か月となった6年生は、修学旅行の鎌倉での班活動では、道を尋ねたり、行き交う人にあいさつをしたり、小町通りで買い物をしたりしながら、鎌倉の文化や歴史を学ぶと共に、人とかかわり合いを学べたと思います。道に迷ったとき優しく教えてもらった嬉しさ、道で出会った人とのあいさつとかかわりあう楽しさなど、経験することによって多くのことを学びました。これも、学校という場での集団活動だからこそできるのだと思います。



集団の中で一人一人がいきいきと活動するためには、一人一人の居場所があること、つまり自分の役割があり、それをきちんと果たすことによりお互いを認め合うことが大切だと思います。元NHKアナウンサーの鈴木健二さんは退職後、地域の文化や祭りの新興や復元に携わっていましたが、著書の中に『かのトルストイも「人間の最高の幸福は、人のために働くことである」という意味のことを言っていますが、……私が旧制弘前高校の十八歳の青春時代から「人のために生きてこそ人」という自家製の言葉を旗印に掲げていたことがおわかりいただけるかと存じます。』という一文があります。集団の中で自分の取組が人のためになり、相互に認め合えたとき、自己有用感や所属感が高まり、子供達一人一人が安心して集団生活や社会生活を営むことができます。そのような校風が『地域と共に歩む 笑顔あふれる 活力のある学校』づくりに繋がっていきます。

あと1か月で新年を迎えます。2学期のまとめをしっかりと行い、一人一人の子供の確かな成長と居場所づくりを進めていきます。今後とも地域や保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

12月の生活目標

身の回りの整理整頓をしよう

第10回 アフタヌーンコンサート

～こばと幼稚園、葛飾中のみなさんと楽しいひとときをすごしました！～

11月11日に第10回目のアフタヌーンコンサートがおこなわれました。今年は校内行事の都合で庄和高校さんが参加できませんでしたが、こばと幼稚園さん、葛飾中さんと桜っ子のジョイントコンサートで楽しいひとときを過ごすことができました。今回も、体育館が超満員になるほどたくさんのお客様にご来場いただきました。

また、お昼にはPTAのボランティアの皆様による「桜なべ」が振る舞われ、子どもたちはそのおいしさに大満足していました。



今回のアフタヌーンコンサートもおかげさまで無事終了することができました。ご支援、ご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

6年生 修学旅行（鎌倉・横浜）

11月21～22日に6年生が鎌倉・横浜方面に修学旅行に行ってきました。鎌倉では自分たちで計画を立てたグループ行動、横浜では中華街での昼食、港内の遊覧船等ですばらしい思い出づくりをしました。2日間とも天候に恵まれ、富士山や城ヶ島海岸の風景なども楽しむことができました。



家庭数配布